

企 画 政 策 部

次期基本計画の策定に関する基本的考え方について

平成16年12月に策定した県の基本計画である「生活創造推進プラン」(現プラン)の計画期間が平成20年度までとなっていることから、平成21年度を初年度とする次期基本計画(次期プラン)の策定について、下記の基本的考え方で進めたいと考えています。

記

1 次期プランの目指すところ

人口減少、少子高齢化、地域格差などの将来への不安要因を抱える中、本県で豊かな生活を実現するための明るいシナリオを県民に示すこと。

現プランの下で、耕し、種を蒔き、芽を育てたものを、大きく芽吹かせ、結実させるための戦略

2 そのために次期プランが備えるべき力

(夢を訴える力)

県民が「青森県でがんばろう」という気持ちになる夢を発信

県外の人々が青森県に夢を感じて「選ばれる地域」となるための価値を発信

・企業誘致、投資、起業、移住などへの訴求力

(夢を実現する力)

総花的ではなく選択と集中による成功事例づくり

各地域の資源を活かした牽引車づくり

3 次期プランの視点

「生業」(なりわい)づくりとそれに裏打ちされた豊かな「生活」の実現

4 自主自立のシナリオ

外貨獲得(高付加価値での県外、海外取引の拡大)と

地産地消(域内循環、クラスター形成)

5 次期プランが県民に示すメッセージの例

食料、エネルギー主権

かせぐ青森県 「かせぐ」は、「お金をかせぐ」(外貨獲得)と

「よく働く」(雇用と労働力の確保、生産性向上)の意味

・例えば、県民に分かりやすい方向性として、目指す所得水準などを掲げる。

6 次期プランの構成

夢の実現に向けた全県一丸「チーム青森」の5年プラン（全県編）
県民が夢を現実のものとして感じるための身近なエリアプラン（地域別編）

7 次期プラン策定に係る今後の予定

（平成20年）

- ・ 2月28日（木） 総合計画審議会開催（委員改選による委嘱状交付）
- ・ 4月 次期プランの策定についての庁議了解
青森県総合計画審議会開催（諮問）
策定連絡会議設置（庁内）
県民（1万人）アンケート実施
- ・ 5月～8月 策定委員会・小委員会、地域協議会開催
- ・ 8月 地域フォーラム開催（6地域）
- ・ 9月 総合計画審議会開催（答申）
計画案の概要の県議会への報告
- ・ 9月～10月 パブリックコメント実施
- ・ 11月 次期プランの庁議決定
- ・ 11月～12月 県議会提案、議決

生活創造推進プラン
(平成16～20年度)

現プラン下での主な成果

- 1. 未来と今を支える「人財育成」
 - ・「あおもりを愛する人づくり戦略」策定
- 2. 「攻めの農林水産業」、「あおもりツーリズム」の推進、「あおもり型産業」の育成
 - ・18年産県産リンゴの輸出量が16年産の2倍
 - ・「達者村」が第1回JTB交流文化賞「優秀賞」、第3回オーライ！ニッポン大賞グランプリ受賞
 - ・農工ベストミックス新産業創出構想、あおもりウェルネスランド構想策定
- 3. 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進、医師確保のためのグランドデザインの策定等
 - ・3年間で16人(病院事業管理者を含む。)の医師招へい
 - ・新たな修学資金制度による青森勤務予定医学生64名
- 4. 効率的な行政運営
 - ・ファシリティマネジメントの取組により、第2回ファシリティマネジメント大賞「最優秀賞」を受賞
 - ・50年で約700億円の経費削減が可能な橋梁アセットマネジメント運用開始

次期基本計画
(平成21～25年度)

本県で豊かな生活を実現するための明るいシナリオを県民に示す

夢を訴える力

- ・県民が「青森県で頑張ろう」という気持ちになるメッセージを発信
- ・「選ばれる地域」となるために青森県の本物の価値を県外・海外に発信

夢を実現する力

- ・選択と集中による成功事例づくり
- ・地域の資源を活かした地域活性化の牽引車づくり

全県計画
6地域県民局単位の
地域別計画

2本立て

生業

生活

耕し、種を蒔き、芽を育てたものを、

大きく芽吹かせ、結実させる